

別記様式(第4条関係)

会議録

会 議 名 称	令和7年度加東市地域福祉計画推進会議
開 催 日 時	令和7年8月5日(火) 9時55分から11時35分まで
開 催 場 所	社公民館 2階研修室
出 席 委 員 (名簿順表記)	藤原慶二、中村勇、黒崎和子、松本邦夫、井上義隆、小林邦子、東正伸、松野順二、遠山純子、亀野恵子、高篠慶子、植田竹吉、日下伸一、石田三有希、藤井ひとみ、大西ひとみ、松本匡美 (計17名)
欠 席 委 員	竹内司、神弘文 (計2名)
事 務 局	健康福祉部長 菅野勇一、福祉総務課長 平野好美、主査 橋本実穂、社会福祉課 岸本英典、高齢介護課長 井澤彰子 社会福祉協議会 局長 楳本俊也、課長 西山昌希、副課長 角田久美子、主任 岡田知佳、今榮直子、課員 市井翔希
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 会長・副会長の選任 (2) 令和6年度第3次加東市地域福祉計画の進捗管理、評価について (3) 令和6年度第3次加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画の進捗管理、評価について 4. その他 5. 閉会
会 議 資 料	・次第 ・令和6年度第3次加東市地域福祉計画 推進・評価シート ・令和6年度第3次加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画 推進・評価シート ・委員名簿 ・加東市地域福祉計画推進会議設置要綱 ・加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画推進会議設置要綱

発言者	会議の経過/発言内容
	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 会長・副会長の選任 会長に藤原委員、副会長に大西委員を選出
事務局	(2) 令和6年度第3次加東市地域福祉計画の進捗管理、評価について 事務局より、「資料1 令和6年度第3次加東市地域福祉計画推進・評価シート」を用いて説明。
委員	市内の要支援1、2の方は300人以上居られる中で、ふまねっとの年間登録者は21人のみの状況で「A評価」として良いのか。
事務局	訪問型移動支援サービス事業は介護保険の地域支援事業を利用している。補助金の関係で対象者は要支援認定者と事業対象者に限られ、対象者は300人。令和7年度からは事業を拡大して、通いの場への移動にも対応できるようにする。頂いたご意見は検討をしていく。
委員	要支援認定者と要介護認定者では、要支援認定者しか訪問支援事業を活用できず、手厚く対応すべき要介護認定者が使えないという課題があると思う。
会長	国が推進する事業を市が選別して実施されていると思うが、今後、実情と制度との整合性を図っていくことが課題になる。
委員	訪問型移動支援サービス事業を要介護認定者は利用できないことで利用者から「何故使えないのか」という意見も出てくると思うが、市から事業説明や周知等がどのようにあったのか教えて頂きたい。
事務局	訪問型移動支援サービス事業の範囲の拡大については、昨年度、集団指導の中で改正点として説明を行っている。 基準等が明確になり次第、居宅介護支援事業所等に説明をしていきたいと考える。 また、訪問型移動支援サービス事業は介護保険の地域支援事業のうち、軽度のフレイル予防の方が対象。そのため、対象外の扱いについては、他市の事例等を踏まえ、検討していく。
委員	基本目標1、基本施策2について、まちかど体操事業はメンバーが固定化しており、新規利用者が増えないとも聞いている。また、長寿を祝う会は開催できず、祝い品のみの提供であるが「A評価」として良いのか。その他、空家バンクの周知状況は

	どうか。空家を法人事務所やボランティア団体が使えると活用範囲が広がると思うがどうか。
事務局	以前は長寿を祝う会に参加できる方だけの支援であったが、コロナ禍以降、参加できない方にも祝い品を渡すという方法を取ることで、地区の方と出会う機会となり、ひきこもり予防にもなるためA評価としている。 空家バンクについては、HPでの周知や説明会を実施していると聞いており、空家の利活用については、頂いたご意見を都市政策課に伝えていく。
会長	新型コロナウイルス感染拡大という特殊な状況を経て、今日に至っている。第三次計画の策定時には想定していなかったことが起こり、事業の進め方等を変更しているがざるを得ない状況と思いがけない効果が表れた部分もあると思う。それらを含めた評価であるということと、策定当時に立てた目標に対する現状評価ということを含み置き、委員の皆さんにはご検討頂きたい。
委員	基本目標2、基本施策1の生活困窮者自立支援事業で、5年間で126人の求職支援を行い、52人を就労に繋げたとあるが、就労後の経過をフォローしているのか。
事務局	就労支援は二人三脚で支援を行う。就労してからは頻繁に連絡は取っていないが、相談があれば随時対応している。
委員	発達特性のある方も居られると思うため、企業側の受け入れ体制、支援体制を整えることで安定した生活や就労に繋がると思うが、取組等を検討されているか。
事務局	地域福祉計画に記載している内容は主に生活保護や生活困窮の就労支援であるが、ご意見のあった障害分野については「障害者就業・生活支援センター」等で、就労後の活動状況についても随時、連絡や相談を行っている。生活保護受給者等の就労支援については保護終了となるまで生活状況の確認や連絡を取るが、生活困窮者については就労に繋がった時点で対応終了となる。
委員	こども食堂では、生活困窮に陥るひとり親や発達特性のある児童も少なくないため、支援があると良いと思う。
事務局	市では生活困窮の支援者の他に、ひとり親の相談員も常駐しており、現況手続きの際等に就労や生活状況の聞き取りを行う他、相談には随時対応している。
委員	基本目標2、基本施策2の自殺予防対策事業があるが、加東市は若年層の自殺が多いと聞いているため、A評価で良いのかと思っている。ゲートキーパー研修だけでなく、寄り添えるよう、早期発見できる体制を整えて頂きたい。

会長	自殺の原因だけでなく、その原因を探ることが必要である。就労についても同様。必要に応じて分野間の連携を取ることが重要だと考える。
委員	基本目標 1、基本施策 3 の防災事業をみて、実になる避難訓練が実施されているのかと思っている。国は南海トラフ大地震の発生を見据え、これからは避難するだけでなく、避難生活をどのように過ごしていくかという視点も必要。 現状、避難所には被災された方を助ける道具は一切ない。備蓄倉庫に保有している物資はあるが、それをどう移送するのか等、課題は多い。 東日本大震災後、国から消防団は個別支援に当たるのではなく、共助の位置づけとされている。逃げるだけの訓練ではなく、逃げた後の 1 週間、1 か月をどう過ごすのかイメージを膨らませ考えて頂きたい。そのため、A 判定は甘いのではないか。
事務局	ご意見のあった「要配慮者利用施設の避難確保計画策定支援」については、こども園や特別養護老人ホーム等の施設がたてる計画であり、いずれの施設も計画を作成しているため A 判定としている。また、意見を頂戴したように、避難訓練を実施しているが、長期化した避難所生活という点まで想定が至っていない面もあるため、防災課とも情報を共有し、より良いものとするようにしていく。 (3) 令和 6 年度第 3 次加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画の進捗管理、評価について 事務局より、「令和 6 年度加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画 推進・評価シート」を用いて説明。
委員	高齢者人口は増えているのに対し、シニアクラブの会員数は毎年 5 % ずつ減少している。シニアクラブという活動を理解していない方も多くいるため、積極的に情報発信を行う必要があるのではないか。
事務局	シニアクラブ連合会の目的や活動を社協だよりや SNS で発信することは可能。ただし、社協だよりは隔月発行のため、社会福祉協議会として地区の活動を積極的に挙げたいと考えている。また、シニアクラブ連合会の他、単位シニアクラブ 3 団体もあるため、4 団体を含め、発信方法については検討していきたいと考える。
委員	加東市には兵庫教育大学ボランティアセンターや社高校 J R C 部もあるが、兵庫教育大学の学生は、卒業後は巣立っていくため、地元に住む人や現役世代の人へ積極的に働きかけて頂きたい。例えば、教育委員会と親子ボランティア、企業と協働して企業ボランティア等のボランティア活動を活発にさせていただくと良いと思う。
事務局	いただいたご意見を参考に今後、検討していきたい。

委員	全国社会福祉協議会で協定を結び、発災時には全国各地から物資の提供やボランティア派遣があると思うが、どこで受け入れを行う等、想定をされているのか。
事務局	現時点で明確な場所等は定まっていなかったかと思うが、市防災計画では市の駐車場等も含めた想定だったと思う。南海トラフ地震のリスクもあることから、播磨中央公園や兵庫教育大学等の関係機関も視野に入れ、早急に協議、検討を行っていく。
委員	個別避難計画の策定についてC判定をつけておられるが、厳しい評価と感じる。福祉部局が連携をして研修会等を開催してくれているが、その反面、防災課には周知ができていないと記載してある。福祉専門職として、個別避難計画の重要性は実感しているが、策定が進まない状況がある。その要因をどう考えるのか。また、その解決策を検討していく必要があると思う。
事務局	個別避難計画が進まない要因について、様々な要因が考えられるが、避難所や避難先が要因の一つでもあると考えている。市防災計画では、まずは公民館等への避難を想定しており、避難所で生活できない方については、協定を結んでいる社会福祉法人等へ避難することとしているが、実際にどのように避難や避難生活を送れるのか他市等の状況を確認しながら庁内で協議を進めている。また、県についても旅館やホテル等への広域避難体制を整えている。
委員	「（仮称）ボランティアセンターの設置が進まなかった」と記載があるが、ぜひ、進めて頂きたい。シニアクラブ連合会等の活動に高校生等の学生がボランティア参加してくれている。社会福祉協議会と一緒に学生ボランティア活動が活発になるよう取り組んでいきたいと思う。
事務局	社会福祉協議会の役割・目的は次世代につなぐ福祉の土壌づくりを行うことでもあると考えているため、頂いたご意見を踏まえ、今後、検討を行っていく。
	4. その他
	5. 閉会
	以上